

Service News サービス・ニュース

千代田Web図書館
電子書籍「青空文庫」
1000タイトルを追加収録しました

明治から昭和初期の文学作品を中心に約1500タイトルを収録。全集などにしか収録されていないような作品も手軽に読むことができます。ぜひ、この機会に電子書籍にトライしてみたいはいかがでしょうか？

千代田Web図書館は、主に千代田区に在住・在勤・在学者対象のサービスですが、該当しない方でも、九段下の千代田図書館にて館内閲覧が可能です。また、どなたでも利用できるコンテンツもご用意しています。詳しくは、図書フロアカウンターまで。

12月のデータベース講座のご案内
日比谷データベース講座 VOL.6
「ジャパンレヅジLibを使いこなす」

- 12月9日(火) 12:15～13:15 「歴史を探る」
- 18:00～19:00 「ビジネス情報を検索する」
- 場所: 2階図書フロア カウンター前
- 参加費: 無料

12月の展示情報 ※展示内容は変更する場合がございます。

2F オレンジゾーン
「生物多様性とくらし・経済」**NEW!**
10月に韓国・平昌で国連の生物多様性条約第12回締約国会議(COP12)が開催され、日本でも国家戦略とされている生物多様性について改めて考えます。

2F ホール
生誕100周年「ムーミンをつくった芸術家 トーベ・ヤンソン」特集
「都市と森の境界に現れるアート」展(～12/7) **NEW!**
アーティストによる作品や関連本を展示します。

2F パープルゾーン
「古今東西 地図さんぽ」
日本の地図、世界の地図をテーマごとに紹介。単なる道案内だけではなく、幅広い知識を与えてくれる地図の奥深さ、面白さを再確認してみてください。

3F ブルーゾーン
「早すぎた芸術家」(～12月中旬)
“生前は無名”“発表当時物議をかもした”“批判された”など、様々な角度から「早すぎた」芸術家、文学者、音楽家たちに焦点をあてます。

3F ホール
「2020年 東京オリンピック・パラリンピックに向かって」(～12月中旬)

わたしの1冊
『饗宴外交』
ワインと料理で世界はまわる

西川恵著

当館スタッフの推薦本をご紹介します。
◆おすすめする人
図書フロア 向井 彩子

外交における饗宴には何が期待され、託され、求められているのか。食材や飲み物、食器にも意味を込めるプロたちの心くばりに驚嘆しながらも、美味しいものが人の心を動かすのは万国共通なのだと思ふ。笑ましく感じました。各国各人のこだわりが興味深く、スリリングな人間ドラマとしても読める一冊。

世界文化社/2012年

多くの人々によって作り上げられる一夜の饗宴から、国際政治と外交のキーワードを読み解く。

ZONE PICK UP!
3F グリーンゾーン
【哲学・歴史・自然科学・技術工学】の本を集めたゾーン

「食」というと何を思い浮かべますか？
3階グリーンゾーンでは、「栄養学」「食材」「日本の食」「食の安全」「ハラル食品」「江戸時代の食文化」「気になるレシピ」など、私たちの健康には欠かせない食に関するさまざまな情報を、テーマごとに展示しています。是非ご覧ください。

江戸時代の食文化

行政情報

食育を推進するための千代田区の取り組みなどを紹介しています。

「一年中使える!ご飯炊きからローストビーフまで スゴイぞ!土鍋」
福森道歩 著
講談社/2010年

「一生作り続けたいおかず 50年の名門料理教室のベストレシピ150」
田中伶子 著
主婦と生活社/2014年

日比谷カレッジ報告
生誕100周年
ムーミンをつくった芸術家
トーベ・ヤンソンの知られざる素顔

講師: トウラ・カルヤライネン
(ヘルシンキ現代美術館KIASMA元館長、キュレーター・美術史家、作家)

ムーミンの作者トーベ・ヤンソン生誕100周年記念の回顧展を監修したトウラ氏がトーベについて語りました。戦時中に風刺画として雑誌の片隅に書かれていたムーミンは後に世界中で有名になりましたが、実はトーベはそれに悩み、あくまで画家でありたいと生涯仕事を続けたことなど、人間味溢れるトーベの魅力について理解を深めた2時間でした。

10/24(金)

フィンランド語のウェルカムボードの前で。日本でも発売された著書「ムーミンの生みの親、トーベ・ヤンソン」(河出書房新社/2014年)は今年フィンランドでベストセラーに。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

「近代日本」を考える。

●特別研究室企画展示
「近代日本のベンチャー精神
内田嘉吉と明治・大正期の実業家たち」

日本の近代化は新しい産業の誕生・発展と切っても切れない関係にあります。本展示では内田嘉吉文庫を紐解いて、日本の産業革命を牽引した渋沢栄一、浅野財閥を一代で築いた浅野総一郎、日本を代表する多くの企業の源流となった鈴木商店の金子直吉、明治製糖の創立者の一人・相馬半治らの関連資料を紹介しています。本展示を通して、多くの失敗を重ねながらもなお揺るがなかった彼らのベンチャー精神に迫ります。

新橋より銀座方面を望む(明治20年代)「Scenes in The Eastern Capital of Japan(東京写真帖)」(小川一眞/小川写真製版所/1897年/特別研究室蔵)

〈企画展示関連講座〉●古書で紐解く近現代史セミナー 第11回
「市川徹監督映画上映&トーク会:九転十起の男・浅野総一郎」
講師: 市川 徹(タカオカンドリーム社 社長・映画監督) きゅうてんじゅうつき

浅野財閥を築き、京浜工業地帯の生みの親として知られる浅野総一郎を描いた映画「九転十起の男」の監督・市川徹氏を迎えて、浅野総一郎の人生を映画(上映:約90分)で振り返った後、市川氏が映画にまつわる様々なエピソードをお話します。

- 日時: 12月11日(木) 18:30～21:00(18:00より受付)
- 会場: 地下1階 コンベンションホール(大ホール)
- 定員200名 ■ 参加費: 1000円(千代田区民500円)
- 参加申込: お電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp)または、当館1階受付

〈企画展示関連セミナー〉
特別研究室 モーニングセミナー
「近代日本のベンチャー精神 一内田嘉吉と明治・大正期の実業家たち」にちなみ、日本の産業発展と企業家の人物像などについて、内田嘉吉文庫をはじめとする特別研究蔵の蔵書をもとに参加者一同で語り合います。

- 日時: 12月18日(木) 10:30～12:00(10:00より受付)
- 会場: 4階 特別研究室
- 定員: 20名(申込順、当日参加も可能) ■ 参加費: 300円
- お問い合わせ: 特別研究室 電話(03-3502-3340)

モーニングセミナーは、ナビゲーターによるガイドのもと、参加者一同が特別研究蔵の蔵書を発掘したり、自由に意見を交わす歴史探究ワークショップで、原則毎週木曜日に開催しています。

calendar 開館時間: 平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

2014年 12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2015年 1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※12月29日(月)～1月3日(土)→年末年始休館
※1月17日(土)、1月18日(日)→図書特別整理による部分(図書フロア)休館

お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL: 施設代表 03-3502-3340
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: http://hibiyal.jp

access
都営地下鉄
●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
東京メトロ
●丸の内線
●日比谷線
「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
●千代田線
「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
JR「新橋駅」徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

12・1月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

12/12 (金) 世界が求める日本の商空間デザイン —カフェからホテルまで—

講師：笈川 誠 (パンプー・メディア代表/「商店建築」元編集長)

アジアを中心に世界から強く求められている日本のデザイン力。日本のデザインの特徴・強みとは何か、その理由や躍進の背景、日本がおかれている現状と今後の課題について、過去数年の業界の動向や最新の事例から読み解き、お話いただきます。

- 日時：12月12日(金)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円



12/13 (土) 新潮講座スペシャル 梅原猛が解き明かす 親鸞「四つの謎」

講師：梅原 猛 (哲学者)

浄土真宗の開祖・親鸞について、講師の梅原氏は長年4つの疑問を抱えてきたといいます。妻帯の謎、悪業の定員に達した為としての肉親への拘り、受付を終了しました。覺の境地……。齢九十を迎える梅原氏がこれまでの定説を覆し、真の親鸞像に迫る気迫の講座です。(主催：(株)新潮社)

- 日時：12月13日(土)13:30～14:30(13:00より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■参加費：3000円



12/14 (日) ピースビレッジ 第27回 持続可能な食料システムの構築に向けたマルチ・ステークホルダー・コンソーシアム「サステナブル・フード・ラボ(SFL)」

講師：小田 理一郎 (有限会社チェンジ・エージェント 代表取締役社長兼CEO)

70億人の食料が十分ありながら8億人が飢え、10億人が肥満にあえいでいます。人口増加等により需要が増える一方、環境問題等、持続不可能な様々な課題を抱えています。SFL(サステナブル・フード・ラボ)がどのように結成され、うねりを生み出していったかを、リーダーシップ開発や組織開発の観点を交えてご紹介いたします。(主催：NPO法人世界連邦21世紀フォーラム)

- 日時：12月14日(日)14:00～16:30(13:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名
- 参加費：3000円



12/17 (水) 『源氏物語』を味わいつくす(全3回) 第3回「朗読劇」としての卓抜さを味わう

講師：林 望 (作家・国文学者) ゲスト：鶴木 絵里 (オペラ歌手)

『源氏物語』の「宇治十帖」は会話が極めて多く、全体が朗読劇台本のような形式になっているという特徴があります。「宇治十帖」の魅力を読み解く。鶴木の美声と豊かな演技。木絵里氏をお招き。朗読劇としての宇治十帖をお楽しみいただきます。(主催：上廣倫理財団)

- 日時：12月17日(水)18:30～20:30(18:00より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名
- 参加費：500円(千代田区民及び学生は無料)



▶参加申込：電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

12/19 (金) 東京ステーションギャラリーx日比谷図書館 展覧会への入口講座vol.11 「東京駅の一世紀」

講師：富田 章 (東京ステーションギャラリー館長)

東京駅は、今年12月に開業100年を迎えます。東京ステーションギャラリーでは、これを記念して「東京駅100年の記憶」展を開催します。本講座では、同展の出品作を交えながら、東京駅が何を目撃し、またどのように見られてきたのかを振り返ります。この一世紀は、政治的にも社会的にも激動の時代でした。東京駅をめぐる視覚や記憶について検証することは、日本の近代を見つめ直すことにもつながるのではないのでしょうか。

- 日時：12月19日(金)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円(千代田区民500円) ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。



山川秀峰(東京駅と美人)1942年 鉄道博物館蔵

1/11 (日) 演劇への入口講座 第2回 ミュージカルこそ我が人生!! ～俳優と裏方の汗と涙と笑い～

講師：駒田 一 (俳優・歌手) 宮崎 紀夫 (東宝演劇部エグゼクティブプロデューサー)

演劇の世界をより深く知るための連続講座。帝国劇場を拠点とする東宝ミュージカルは、日本のミュージカル界を牽引する存在です。なかでも名作として知られる『屋根の上のヴァイオリン弾き』や『ラ・マンチャの男』などに長年出演している俳優の駒田一氏と、裏方として東宝ミュージカルを支えてきたプロデューサー宮崎紀夫氏が、俳優と裏方それぞれの視点からミュージカルの魅力や見どころについて語ります。

- 日時：1月11日(日)14:00～15:30(13:30より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名
- 参加費：1000円(千代田区民500円)
- ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。



駒田 一氏

1/14 (水) グローバルビジネスパーソンのための財務塾 「2014年のファイナンスを振り返る」

講師：手島 直樹 (経営コンサルタント、インサイトフィナンシャル(株)代表取締役)

2014年は外国人投資家の増加や伊藤レポートの発行などが日本企業のファイナンス戦略に影響を与えました。そこで今回の講座では、2014年に多く見られたファイナンス戦略によって将来企業に及ぼす影響、ファイナンス戦略を策定する際のポイントを学びます。

- 日時：1月14日(水)第1回 「2014年のファイナンス戦略のケーススタディ」 1月28日(水)第2回「日本企業が今後選択すべきファイナンス戦略とは」 いずれも19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階スタジオプラス(小ホール) ■定員：40名 ■参加費：3000円(2回分)



1/14 (水) 他 HIBIYAイノベーション・キャンパス2014 【実践版】イノベティブ思考のためのワークショップデザイン —思考の枠を知る・広げる(全2回)—

講師：富田 欣和 (慶應義塾大学大学院SDM研究科特任講師、関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科講師) 渡辺 今日子 (慶應義塾大学大学院SDM研究科研究員)

参加者ひとりひとりが、イノベティブなマインドセットを獲得し、「多視点からの可視化」「構造化」を実践することで「問題をリフレーミングして考える」を体感します。また、このプロセスの仕組みを理解し参加者自身で再現する、ワークショップのデザインを体験します。(主催：イノベティブ・デザイン LLC共催：慶應義塾大学大学院SDM研究所イノベティブデザインセンター)

- 日時：1月14日・21日(水)19:00～21:00(18:30より受付)
- 会場：4階 セミナールームB(会議室)
- 定員：30名 ■参加費：5000円(全2回分)



1/22 (木) これだけは知っておきたいASEAN経済 「ASEAN経済の地平と展望」

講師：西濱 徹 ((株)第一生命経済研究所 経済調査部 主任エコノミスト)

政府による『成長戦略』の柱の一つに「世界経済とのさらなる統合」が据えられるなか、成長著しいアジア新興国への関心は高まっています。中でも、投資先として、市場として魅力的と評されるASEANについて、マクロ経済と政治の動向を切り口に今後の行方を展望するとともに、日本として如何にASEANと関わっていくべきかについて解説します。

- 日時：1月22日(木)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円



1/23 (金) 日比谷コトづくり塾(第9回) 日比谷発!最新トレンド発信 「地域住民を本気にさせない シティプロモーションに価値はない」 ～地域ブランディング講座～

講師：木村 乃 ((株)ビスデザイン代表取締役・明治大学商学部特任准教授)

日比谷コトづくり塾(第9回)では、木村乃氏による基調講演とコーディネートによる事例演習を通じて、地域住民を本気にさせるシティプロモーションとは何かを考察して参ります。(主催：一般社団法人日本経営協会)

- 日時：1月23日(金)13:30～16:30(13:00より受付)
- 会場：4階スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■参加費：5400円



1/29 (木) パナソニック 汐留ミュージアムx日比谷図書館 展覧会への入口講座 Vol.12 「パスキン展—狂乱の時代を生きた旅人の軌跡」

講師：宮内 真理子 (パナソニック 汐留ミュージアム学芸員)

エコール・ド・パリを代表する画家のパスキン。第一次大戦後のパリにおいて、絶大な人気を博した「真珠母色」の女性像のみならず、青年時代の素描や初期の油彩など多彩な表情の作品を紹介しつつ、衝撃的な最期を遂げた画家の生涯を振り返りながらパスキンの作品を楽しむポイントをお話します。

- 日時：1月29日(木)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名
- 参加費：1000円(千代田区民500円) 展覧会鑑賞券付
- ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。



ジュール・パスキン (少女-幼い踊り子) 1924年 油彩、カンヴァス パリ市立近代美術館蔵 ©Eric Emo/ Musée d'Art Moderne/Roger-Viollet

1/30 (金) 千代田区民講座 「古典芸能 狂言の楽しさ 一笑いは長寿のもと」

講師：善竹 十郎 (大藏流狂言師)

能と共に室町時代に発展した狂言は、我が国が世界に誇る古典芸能です。狂言には喜劇的な要素が強く、見る人の笑いを誘いますが、同時にありとあらゆる人間の弱さが巧みに表現されています。狂言の普及に尽力し「笑いは長寿のもと」と語る講師に、新年にふさわしく「笑い」をふんだんに盛り込んでお話しいたきます。(主催：NPO法人神田雑学大学)

- 日時：1月30日(金)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■参加費：無料 ※2014年12月5日(金)から千代田区民先行受付開始。区民以外は12日(金)から受付開始。



古文書塾てらこや体験講座

「古文書塾てらこや1月期特別講座開講」

古文書塾てらこやは古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。15年1月の開講に合わせ、この度古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意いたしました。各コース別の体験講座実施日は下記の通りです。まずは体験講座をお試ください。

- 日時：1月7日(水)～全8講座 随時開講
- 会場：4階 セミナールーム(会議室)
- 定員：各23名(申込順) ■参加費：各回1,000円
- 資料：体験講座のお問い合わせ：電話(03-3502-3340) 古文書塾てらこや担当 歴史の躍動を感じ、江戸時代の多種多様な資・史料を用いて歴史の具体像を楽しみます。

講座名	曜日・時間	体験講座実施日
大久保利通の手紙を読む	(火) 19:00～	1/13
浮世絵を読む	(水) 10:10～	1/14
女性の風俗を読む	(水) 19:00～	1/7
くずし字で読み解く茶の湯の伝書	(木) 13:30～	1/15
江戸を楽しむ 一統・江戸の寺社あれこれ	(木) 18:30～	1/8
『解体新書』に江戸を読む 一杉田玄白、平賀源内 蘭学者のネットワーク	(金) 13:30～	1/9
絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土) 10:30～	1/10
【翻訳者育成講座】ハーバード大学美術館蔵『源氏物語 蜻蛉』を読む	(木) 18:30～	1/8

from Concierge
コンシェルジュより

クリスマスの風習が日本にやってきたのは諸説あるようですが、16世紀後半、ポルトガルやスペインなどといった海外と貿易を行うようになった頃といわれています。その頃はもちろん現代のような華やかなものではありませんでした。今のようなクリスマスデコレーションは明治37年頃、銀座・明治屋が始めたとき、その頃からクリスマスカードやプレゼントなど一般化されたようです。日比谷図書館では今年も1階エントランスにて近隣のイルミネーション情報と共にクリスマスツリーが皆様をお迎えしています。

■場所：1階エントランス ■期間：開催中～12月25日(木)

Merry Christmas

図書特別整理による部分(図書フロア)休館のお知らせ
2015年1月17日(土)、18日(日)
図書の特別整理を実施するため、2・3階の図書フロア部分を臨時休館します。そのため、図書の貸出・閲覧席の利用等ができなくなります。本の返却は1階エントランスおよび国会通り側ブックポストをご利用ください。(一部の資料を除く) 図書フロア以外の施設は通常どおり利用できます。 ※1月19日(月)は全館、休館日です。(文化財事務室は除く)